

○「家族関係」、「子育て」、「子どもの教育」に係る主な意見

No.	意見内容	発言者	区分	発言部会
1	<p>1つはコロナのような突発的な大きな社会的な問題というのに、意外にすぐには反応しないのだなとも思う。なので、これまでの岩手の社会の中でずっと続いてきたような困り事とか問題みたいなことというのは、やはりコロナで顕在化したのではないかという感じでというように考えると、家族の実感が高いということ自体もコロナがあったから高くなったとか、低くなったというふうなイメージでは、多分まずいのだろうとは思う。</p> <p>ただ、1点はここの属性分析から得られた結果でもちょっと書かれてもいるが、明らかに雇用者の正規の人の働き方で変わった経験というか、人が家族の中にいるというようなことがむしろ家族の在り方に何か影響を及ぼしたのかということが推測されるなどと思う。</p> <p>回答の中に配偶者の家事への参加みたいなのも書かれているので、そういうことかなとも思うが、これちょうど逆のことで生活の状況が困窮の方へ動いた家族はどうだったのかという気がする。先ほども出しましたようにひとり親世帯とか、それから自営業の人とか、こういうところの家族の、子育ての実感というのがどうなのだろうというふうに思っているが、ここら辺はあまり、このデータからは出てきていないわけですね。だから、極端に悪くなったというような実感にはつながらなかったと捉えていいのかなと思っている。</p> <p>この件は、<u>下がっていないということが分かると思うのです。むしろマイナスに出ているような、下がった分に有意差が出ているのがない。有意なところがないので、上がったということよりは下がらなかったと諦めたほうがいいのか</u>などと思っている。</p> <p>今挙げた、<u>それこそ職業というところでも、家族についてはそんなに、また子育てについても有意でないだけでなく、有意に下がっているわけではないので、いいのかな</u>と。</p>	竹村委員	意見	第2回